

このページの番号は消した.

blankページが望まれた場合は空行でいい.

## はじめ

このページは 0 にセットした. これから数学・物理レポート用の L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X テンプレートを作ってみたいと思う. 字下げは 1 文字にしてあるが, しばらく変更しないとする.

まずは書式. 基本的に太字と下線以外, 英字のみ対応できる.

Basic Typewriter Sans Serif *Italic Slanted* **Bold** SMALL CAPITALS Underline

基本 太字 下線

- 箇条 (番号なし)
- 箇条

1. 箇条 (番号あり)
2. 箇条

普通の記号については,

“(公式の外なら)”... # \$ % & \_ { }

のように書く.

## 0 節・段落

`\setcounter` で -1 にセットしたので, この節は 0 になる. counter は, 現在の状態を変更する.

### 0.1 Subsection

Subsection 1

### 0.2 Subsection

Subsection 2

## 1 公式

文章の中で公式を書くのは  $E = mc^2$  のように、また独立の行で

$$E = mc^2$$

このように実現する。またもう一つ独立な公式の書き方は

$$1 + 1 = 2 \tag{0}$$

このようである。そこに番号はついてあり、同じく counter でリセットできる。

$$U_k = \frac{1}{2}mv^2 \tag{1}$$

(1) を引用する場合は、`\label` を使う。この二つの様式を活用して、見やすいレポートが作れる。また、上付き文字と下付き文字も、それぞれ集合して

$${}_{j_1j_2\dots j_q}^{upper\ left}T_{lower\ right}^{i_1i_2\dots i_p} = T(x^{i_1}, \dots, x^{i_p}, e_{j_1}, \dots, e_{j_q})$$

このようにも表現する。

積分は  $\int$  で、分式は  $\frac{a}{b}$ 。上付き *upper* と下付き *lower* はこのように書き、積分の上下限も同じ。偏微分の記号は  $\partial$  で、ベクトルは  $\vec{A}$  である。ルートは  $\sqrt{x}$  と  $\sqrt[q]{x}$  で、

$$\int_0^1 \frac{dx}{e^x} = \frac{e-1}{e}$$

ギリシア小文字は  $\omega, \delta$  で、大文字は  $\Omega, \Delta$  で書く。

三角関数、対数関数等特殊な関数は、`\backslash`が必要となる:  $\sin(\beta), \cos(\alpha), \log(x)$ 。

**定理 1.** 定理などの項目序列は定義できる。